

ギリシャ支援交渉の進展 - 週内合意を目指す

ポイント1 ギリシャ側の新提案で進展

2015年6月22日のユーロ圏緊急首脳会議ではギリシャ側が年金制度改革、増税策、財政収支目標などの提案を示し、それを支援者側もある程度評価したことで進展が見られた模様です。ユンケル欧州委員会委員長は今週中の合意は可能と述べました。ただ、ギリシャに更なる改革を求める声もあり、支援策の具体的内容もまだ詰められていないようです。

ポイント2 妥結への期待高まる金融市場

交渉に進展が見えたことが好感され、22日には主要株式市場で株価が大きく上昇しました。ギリシャ国債は債務不履行の懸念が和らいだことで利回りが低下（価格は上昇）しました。リスク回避を図る資金の流入で一旦低下していたドイツの国債利回りは上昇しました。一方、為替市場では、ユーロの対米ドル、対円レートに大きな動きは見られません。

ポイント3 週内の合意を目指す

ドムブロフスキス欧州委員会副委員長はギリシャの財政収支目標は支援者側の要求に沿うものだが、その他の点ではまだ隔たりがあるとしています。24日には財務相会議が開催され、交渉が続けられます。

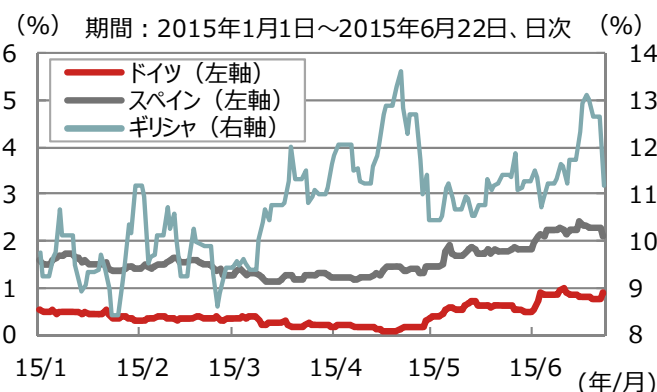
一方、ギリシャの銀行からの預金流出が続いています。ECB（欧州中央銀行）は緊急支援枠を増額していますが、交渉の難航などによって預金流出に拍車がかかれば、預金引出し制限など資本規制が行なわれる可能性もあります。

重要イベント

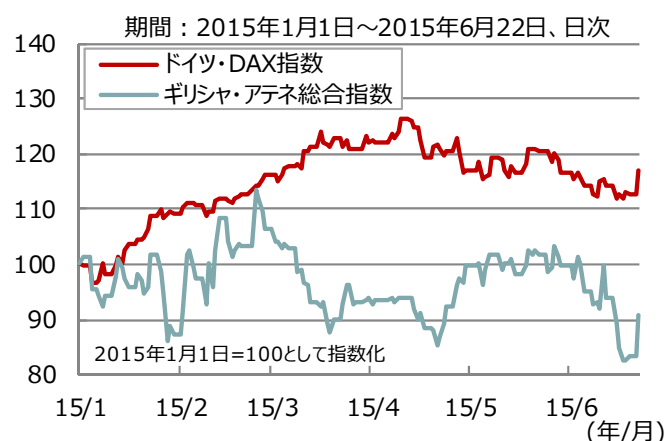
2015年6月24日	ユーロ圏財務相会議
2015年6月25、26日	欧州定例理事会
2015年6月30日	ギリシャ支援策期限 IMF融資返済期限

重要イベントは現地時間で記載しています。

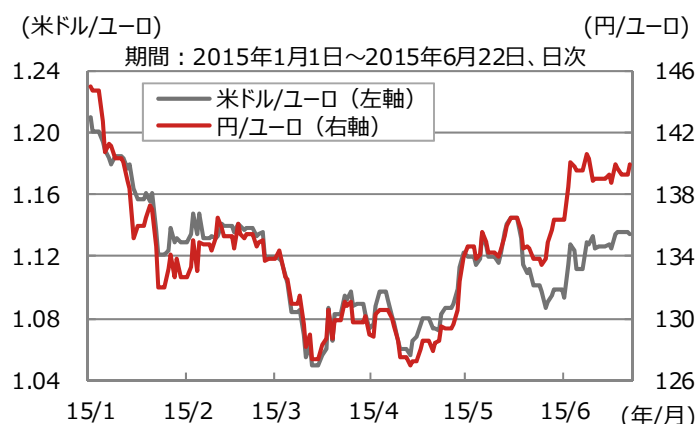
【図1】各国の10年国債利回りの推移



【図2】株式指数の推移



【図3】為替レートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。